



TrustSec セキュリティグループ名のダウンロード

- [TrustSec セキュリティグループ名のダウンロード機能の履歴, on page 1](#)
- [TrustSec セキュリティグループ名のダウンロード, on page 2](#)
- [レイヤ 3 論理インターフェイスへの SGT のマッピング, on page 2](#)
- [TrustSec セキュリティグループ名のダウンロードの設定, on page 2](#)
- [例: TrustSec セキュリティグループ名のダウンロードの設定, on page 3](#)
- [例: TrustSec セキュリティグループ名ダウンロード設定の確認, on page 3](#)

TrustSec セキュリティグループ名のダウンロード機能の履歴

次の表に、このモジュールで説明する機能のリリース情報とプラットフォームサポート情報を示します。

これらの機能は、特に明記されていない限り、導入されたリリース以降のすべてのリリースで使用できます。

リリース	機能名と説明	サポートされるプラットフォーム
Cisco IOS XE 17.18.1	TrustSec セキュリティグループ名のダウンロード: TrustSec セキュリティグループ名ダウンロード機能は、ネットワーク アクセス デバイスが、SGT 番号と SGACL ポリシーだけでなく、関連する SGT 名も受信できるようにすることで、SGT ポリシーを強化します。	Cisco C9610 シリーズ スマートスイッチ

TrustSec セキュリティグループ名のダウンロード

TrustSec セキュリティグループ名ダウンロード機能は、ネットワーク アクセス デバイスが、SGT 番号とセキュリティ グループ アクセス コントロール リスト (SGACL) ポリシーだけでなく、関連する SGT 名も受信できるようにすることで、セキュリティグループタグ (SGT) ポリシーを強化します。

レイヤ 3 論理インターフェイスへの SGT のマッピング

この機能により、基盤となる物理インターフェイスに関係なく、次のレイヤ 3 インターフェイスのいずれかの通信に SGT を直接マッピングできます。

- ルーテッド ポート
- スイッチ仮想インターフェイス (SVI または VLAN インターフェイス)
- レイヤ 2 ポートのレイヤ 3 サブインターフェイス
- トンネル インターフェイス

cts role-based sgt-map interface グローバル設定コマンドを使用すると、特定の SGT 番号またはセキュリティグループ名を指定できます。セキュリティグループ名とその SGT の関連付けは、Cisco Identity Services Engine (ISE) または Cisco Access Control Server (ACS) から動的に取得されます。

TrustSec セキュリティグループ名のダウンロードの設定

TrustSec セキュリティグループ名のダウンロードを設定するには、次のタスクを実行します。

Procedure

Step 1 enable

Example:

```
Device# enable
```

特権 EXEC モードを有効にします。

プロンプトが表示されたらパスワードを入力します。

Step 2 configure terminal

Example:

```
Device# configure terminal
```

グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。

Step 3 **cts role-based sgt-map interface type slot/port [security-group name | sgt number]****Example:**

```
Device(config)# cts role-based sgt-map interface gigabitEthernet 1/1 sgt 77
```

SGT は指定されたインターフェイスへの入力トラフィックに適用されます。

- **interface type slot/port:** 使用可能なインターフェイスのリストを表示します。
- **security-group name:** セキュリティグループ名から SGT へのペアリングは Cisco ISE または Cisco ACS で設定されます。
- **sgt number:** SGT 番号を指定します。範囲は 0 ～ 65,535 です。

Step 4 **exit****Example:**

```
Device(config)# exit
```

グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。

Step 5 **show cts role-based sgt-map all****Example:**

```
Device# show cts role-based sgt-map all
```

入力トラフィックに指定された SGT がタグ付けされたことを確認します。

例: TrustSec セキュリティグループ名のダウンロードの設定

次の例は、入力インターフェイスへの SGT のダウンロード設定を示します。

```
Device# config terminal
Device(config)# cts role-based sgt-map interface gigabitEthernet 6/3 sgt 3
Device (config)# exit
```

例: TrustSec セキュリティグループ名ダウンロード設定の確認

次の例は、**show cts role-based sgt-map all** コマンドのサンプル出力を示しています。

```
Device# show cts role-based sgt-map all
```

```
IP Address                SGT      Source
```

```
=====
```

例: TrustSec セキュリティグループ名ダウンロード設定の確認

15.1.1.15	4	INTERNAL
17.1.1.0/24	3	L3IF
21.1.1.2	4	INTERNAL
31.1.1.0/24	3	L3IF
31.1.1.2	4	INTERNAL
43.1.1.0/24	3	L3IF
49.1.1.0/24	3	L3IF
50.1.1.0/24	3	L3IF
50.1.1.2	4	INTERNAL
51.1.1.1	4	INTERNAL
52.1.1.0/24	3	L3IF
81.1.1.1	5	CLI
102.1.1.1	4	INTERNAL
105.1.1.1	3	L3IF
111.1.1.1	4	INTERNAL

IP-SGT Active Bindings Summary

=====

Total number of CLI bindings = 1

Total number of L3IF bindings = 7

Total number of INTERNAL bindings = 7

Total number of active bindings = 15

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。